

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 活力づくり

施策コード	050201
-------	--------

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 まちの活性課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第5章 活力をうみ、賑わいのあるまちづくり (活力・賑わい)	節 第2節 観光
	施策	活力づくり	

基本方針

- 観光協会が市の観光振興の一翼を担えるよう、観光協会の基盤強化、機能の充実、他団体との連携を支援します。
- 豊富な観光資源を活用し、市民団体等が主催する催しを支援します。
- 本市への来訪者が、快適に回遊、滞在できるように既存の観光資源の連携を図るほか、関係団体等のホスピタリティの向上を支援します。
- 訪日外国人観光客（インバウンド）の受入環境整備や運営主体となる民間の人材育成を支援します。

現況と課題

- 泉佐野観光ボランティア協会等の関係団体の育成を図り、さらに多数の来訪者が一日快適に回遊し、滞在できるようなホスピタリティあふれる受入れ体制の充実が求められています。
- 泉佐野市観光協会その他関係団体とともに、豊富な観光資源をいかしたイベントの開催を通じ、一定の集客を確保しています。
- 市の玄関口となる泉佐野駅周辺の活性化を図るため、産官学が参画するプロジェクトにおいて、駅周辺でイルミネーションの点灯などの事業を実施しています。
- 郷土芸能の集いなどを通じて、歴史ある伝統文化を継承するとともに、地域コミュニティの形成に努めています。
- 既存の自然、歴史、文化等の観光資源をいかし、集客性や滞在性を備えたイベントの開催を支援し、新たな観光振興を創造する必要があります。
- 訪日旅行ブームにより、本市での宿泊客が大幅に増加しており、受入れ環境整備や地域づくり人材の育成が急務となっています。

施策目標

対象（誰を、何を、どこを）
訪日外国人観光客、国内観光客、地域事業者

意図（どのような状態にしたいのか）
関西、日本各地、海外から多くの人々が訪れるよう、泉佐野の特色や魅力を活かしつつ集客力の向上を図り、人々の交流を生み出します。

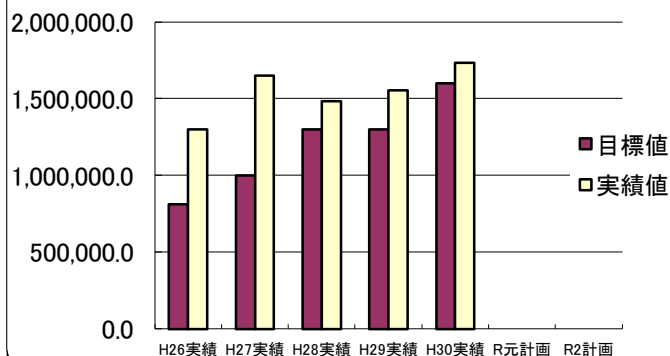
3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度（偏差値）	46.5						38.4
重要度（偏差値）	41.9						35.8

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H29決算	H30決算					
コストの内訳	人件費	千円	22,975	22,155				
	事業費		140,064	167,147				
	フルコスト		163,039	189,302				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	28,411				
	府支出金		676	14,273				
	市債		0	0				
	その他		94,405	100,175				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		67,958	46,443				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		44,983	24,288				

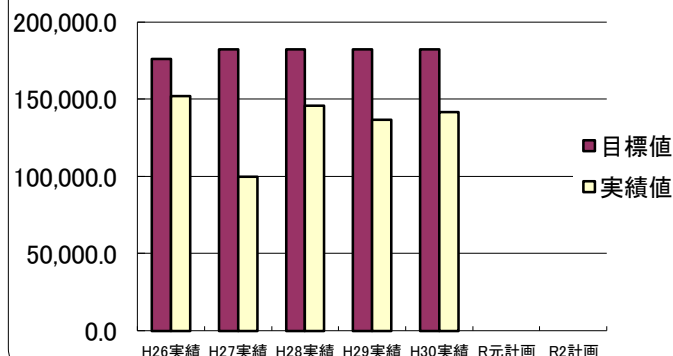
5. 施策の成果指標

① 成果指標 1 市内の年間宿泊者数							
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	810,000.0	1,000,000.0	1,300,000.0	1,300,000.0	1,600,000.0		
実績値	1,298,823.0	1,647,941.0	1,484,872.0	1,555,470.0	1,731,180.0		
達成度	160.35	164.79	114.22	119.65	108.2		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
宿泊者数の増加が交流や地域活性化に繋がることから指標を設定		現状の数値から10年後に15%増やす目標を設定し、5年後の目標を86万人としましたが、新規宿泊施設が次々とオープンしており、目標を大幅に上回る実績値であるため、目標値を上方修正し、H30計画を160万人と設定		閑空の玄関口と言う好立地条件と宿泊施設の増加によるものと推測。			
② 成果指標 2 イベント集客数（市内で開催するもの）							
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	176,000.0	182,000.0	182,000.0	182,000.0	182,000.0		
実績値	151,987.0	99,750.0	145,567.0	136,774.0	141,707.0		
達成度	86.36	54.81	79.98	75.15	77.86		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
本市でのイベント集客数を把握することによって、賑わいの創出や市民団体等の観光振興に寄与した度合を把握するため指標として設定		過去の実績と現状を考慮して10年後の目標を概ね20万人と設定した上で、H26以降は過去の実績を踏まえるとともに、最終目標を達成するための目標値として設定		大型イベントの再開により集客数は回復傾向にある。			
③ 成果指標 3 特区ガイド登録者数							
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	60.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
実績値	38.0	53.0	65.0	79.0	98.0		
達成度	63.33	53.0	65.0	79.0	98.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市域が地域活性化総合特区として指定され、国より認定を受けた計画において、特区ガイド（地域通訳案内士）の養成を実施することとしていることから指標として設定		国から認定を受けた計画にて、特区ガイド（地域通訳案内士）を100人養成することとしているため目標値として設定		養成研修受講者29名のうち16名が登録。			
④ 成果指標 4 市内の年間外国人宿泊者数							
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	400,000.0	680,000.0	1,000,000.0	1,000,000.0	1,100,000.0		
実績値	678,186.0	989,991.0	957,361.0	989,440.0	1,131,180.0		
達成度	169.55	145.59	95.74	98.94	102.83		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
訪日外国人宿泊者数の増加が交流や地域活性化に繋がることから指標を設定		平成30年度で50万人を目標に設定しましたが、H26以降大幅に外国人宿泊者数が増加し、目標をはるかに上回る実績となりましたので、H27以降は過去の実績を踏まえ、目標値を設定		閑空の玄関口と言う好立地条件と宿泊施設の増加によるものと推測。			

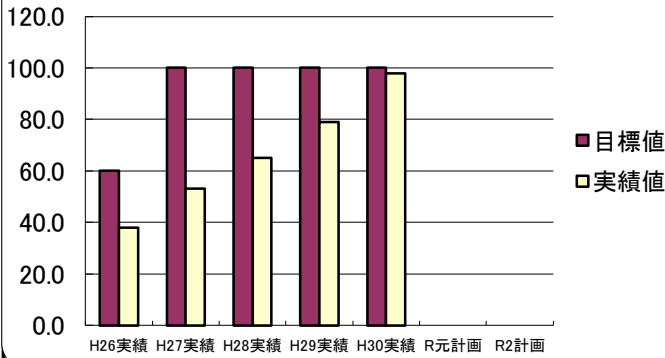
成果指標①



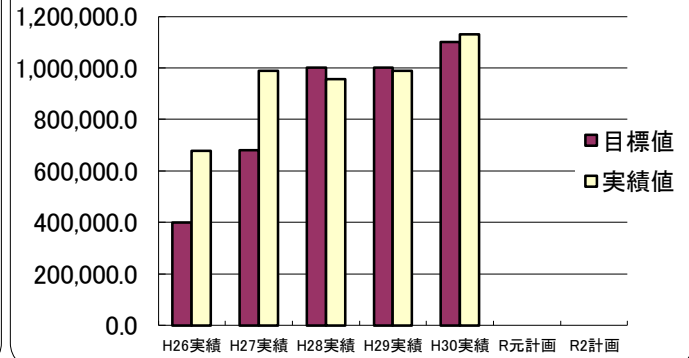
成果指標②



成果指標③



成果指標④



6. 施策の事後評価

評価項目	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	観光振興に対するニーズは地域の事業者等を中心に高まりつつあり、観光産業として発展させることが重要であると考えている。しかし、産業化するには時間が必要であり、現状として市民がその恩恵を享受するに至っていないことが調査結果としてあらわれているものと認識している。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	国の観光施策に対する強化、ビザ発給要件緩和、LCCの就航等により、関空の玄関口である本市でのインバウンド宿泊や交流人口の大幅増加を後押ししている
	合計点	(10点中) 7点	
	総合評価	B	関西国際空港のお膝元と言う地の利を活かし、今後も目標の達成、更新に注力する。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業

No.	予算コード	事務事業名	H30年度決算額			一次評価
			人件費	事業費	一般財源	
1	01037300	観光振興事業	18,177	119,208	23,789	B
2	01083252	【H30廃止】シビック・モール事業(まちの活性化課)	8	0	0	F
3	01083337	大阪版DMO連携推進事業	3,970	47,939	499	B
合計			22,155	167,147	24,288	